

加古川のこれからの川づくりに関するご意見

意見提出期間 平成21年10月19日（月）
～平成21年11月18日（水）

意見提出方法 電子メール、FAX、郵送

○提出者（加東市・村上）

前略、先日 17 日(土)西脇市での説明会、大変参考になりました。有り難うございました。以下は、緊急要望、23 号台風洪水で多くの家屋が床上浸水しました。そこで要望ですが、西脇へそ公園駅より上流約 200m のところに福地南水門があり、向い西側に土砂が堆積しております。1ヶ所は除去されましたがもう 1ヶ所もすぐ除去とのことでしたが、4 年近くになります。今だに除去されていません。早急をお願いします。その他、先月の長雨で加古川が増水し水門から逆流して多くの水田が浸水しました。又、水門より下流の掘削も検討くださいますようよろしくお願いします。乱筆で失礼します。

○提出者

加古川大門橋周辺（加東市大門地区）の河川の状況をご理解いただき早急に安全な堤防対策をお願いいたします。平成 16 年の台風 23 号は、加古川周辺に居住する事の危険を感じさせました。支流との合流を重ね、未曾有の水量で大門橋を襲ってきました。田畑、民家を浸水させ、避難命令が発令され生命の危険を感じる事態にまで発展いたしました。大門橋横の神社では浸水により境内が埋没し、社殿が傾き去年社殿の移転まで行う事態となりました。この台風以降、西脇周辺を始め、小野、加古川周辺で川底の掘削工事等行われていますが、このような被害を受けた大門周辺では何の対策もとられていないのが現状です。

もし近日同様な台風が訪れると、間違いなく生命を奪う大被害を被ることは必然であり、その前に早急に安全な川作りをしていただけますようお願い致します。

○提出者（西脇市・角田）

自然が豊かな地域で、総合的な活性化をめざすその第一は、水害対策が重要と存じます。その理由として、水害対策は一部の地域と言えど、その弊害は地域のイメージダウン及び個人や地域の財産に大変な損害が及ぼされ、又、行政はその後手対策に翻弄され、災害以前の先行投資よりも数倍の資金を要し、尚、人権侵害も併発するという全く取り返しが付かない事態を引き起こす事になるからです。

一方、人間関係で一番大切な事は、いずれに於いても信頼関係が常識ですが、一旦水害になりますと、例えば、畜産業に最も大切な稲藁が殆んどダメになり、全く理想に反する事態も発生します。その原因は山林の荒廃と最近は上流の都市化等で河川の水位が急上昇する事、これは人災と言えるのではないのでしょうか。

それに関する対策の目標は何よりも先に、上下水道が完備された所を優先して河床の掘削を行う等の親水性も特に重要で、またそれが格差の是正や活性化に貢献できると断言しても過言ではないと存じます。

特に、例えば西脇市の黒田庄町福地地域は、JR のへそ公園駅と黒田庄駅の丁度中間地に位置し、加古川本流や門柳地域及び津万井や岡地域を活用した散策等に適しており、県道

バイパスや国道を通じた交流を含めての人口増加で活性化を計る事は、市全体から見聞しても最適な地域である事は誰も認める所と存じます。

しかし一方、農業全体の計画は、すでに限界が見えており、年に一度の米作主体の収益等では、特に地域性の障害もあり、どうしても自主的や総合的な活性化には全く無理が生じるのではないのでしょうか。

いずれにしましても、地域の自立と活性化には、先ず人口の増加が基本であり、それに付随して土地利用が発生して初めてそれらの目標が達成する事は、いずれの地域でも異論は無い筈であります。

要するに結論は、当地域で経済面等を重視するならば、これからは、かけがえのない自然を活用することこそ、子孫に対する希望も発生するものと存じる次第です。

○提出者

説明会全体の印象として、説明者の説得力とか熱意というものが感じられなかった。

資料について、口頭で説明を付け加えておられた内容を資料中に記述すべき。例えば、「堤防点検」ということも含め、具体的な実施内容を記述すべき。管理者としての姿勢をアピールするチャンスであったはず。

○提出者

加東市河合地区は、築堤を掘削すれば治水できると思うので、橋梁改築工事が後になってもさしつかえないので早く計画・実施してほしい。(私個人の意見)

加東市大門地区に住する者と相談する場を作りたいので設計図をもらいたい。必要ときは流域委員の説明指導も受けたい。地域全員(大門)の賛成・協力が得られるようにしたい。